

## 東部社会教育研修センターホームページ センター所長あいさつ

所長 難波 賢二

島根県立東部社会教育研修センターは、平成22年4月「県立生涯学習推進センター」を改称し、県立青少年の家へ移転して今年で10年目の節目を迎えました。この間、事業内容を「生涯学習の振興」から「社会教育指導者・担当者の養成」に特化し、事業を展開してまいりました。

生涯学習の理念である、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことができる社会の実現に向けて、当センターでは、「地域力」の醸成に資する人材「社会教育指導者・担当者（市町村社会教育担当者、公民館職員等）及び社会教育に関わる方」を対象に、(1)人材養成研修、(2)調査・研究(学習プログラムの開発)、(3)「しまねの社会教育だより」等による社会教育情報の提供、(4)学習相談、(5)市町村支援に取り組みます。

このうち、「人材養成研修」については、対象者別の研修を実施し、社会教育に携わる上で必要な知識・技術を提供します。また、「市町村支援」については、市町村において社会教育に関する研修会等を開催される際に、より充実した研修となるよう、研修計画・研修内容、学習プログラムについての相談、助言や「しまね学習支援プログラム」の体験講座、ファシリテーター養成に向けた研修の支援を行います。

調査・研究事業の一環として、県の社会教育の推進のため開発・普及に取り組んできた『しまね学習支援プログラム』は、市町村における社会教育関係者に活用いただけるように努めてまいります。「親学プログラム」・「親学プログラム2」の普及を進めるとともに、「地域魅力化プログラム」(実施版)については研修を通してそれぞれの市町村で活用していただけるように努めます。また、地域魅力化プログラムに対応したファシリテーター養成にも積極的に取り組みます。

平成20年の社会教育法改正により社会教育行政の任務が明確にされ、市町村における社会教育の重要性がますます高まる中、当センターは、市町村の社会教育担当者、公民館職員等、社会教育にかかわる方々のニーズを的確に捉え、「地域力」の醸成に資する人材の養成機関としての責務を果たしていきたいと考えています。